

令和 4年度 園評価書

I 経営の重点に関わること

評価段階 (A:よくできている B:概ねできている、C:あまりできていない、D:できていない)

1 教育・保育目標	2 重点目標	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員から	改善策(来年度の具体的な取組目標等)
健康で明るい子	自分の思いに自信をもちじっくり遊ぶ子	思いや感じたことをその子なりの方法で表現する	・表現の仕方は様々だが、その子なりの方法で表現できている ・恥ずかしくて小さい声の子、自信がない子もいるが、思いを伝えることはできている ・自分の思いが言い出せない子もいる	A	A	・人前で話すこと＝自分の思いを話すのではない為、気をつけなければいけない。5歳後半で文章になり書き言葉につながっていくので、1対1のコミュニケーションがまずは大事で、正しい発語を促していくと良い。子どもたちの育ちについて厳しめにつけられているように感じた ・ケイドロのセットがあるのが良かった。繰り返しの遊びにつながる。	・自分の思いを表現はできているので、まずは一人一人の思いを受け止めて、丁寧にかかわり信頼関係を築いていく。 ・試したり工夫したり繰り返して遊べる環境を作り、共同作業者として一緒に遊ぶことで、楽しい、面白い遊びを共有する
		自分の良さに気づき、友達の良さを認め合いながら生活する	・友だちの事を気にかけて手伝ってあげたり、教えてあげたりしている ・友だちの頑張りを認め、「すごいね」と伝え合う姿がある ・友だちと一緒に嬉しい、友だちが好き、友だちと遊ぶ事が好きな子が多い ・友だちに興味をもって接しているが、良くないところを指摘する姿もある	B	B		
		自分のやりたい遊びを試行錯誤しながら繰り返し遊んでいる	・以前より、遊びに対して「こうしてみようかな」と考えながら繰り返し取り組む姿が見られるようになってきた ・環境構成を丁寧に行ったことで繰り返し楽しんで遊ぶ姿が1学期よりも見られた ・これをやったらどうなるだろうと考えて工夫する姿があるが、すぐに飽きてしまう姿もある	B	B		

II 全体的な計画に関わること

大項目	中項目	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員から	改善策(来年度の具体的な取組目標等)
1 こども園における教育及び保育	(1)0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育	・子どもの発達や興味関心を膨らめた活動が展開できるように考えている	・子どもの興味・関心に合わせて環境を整えたり、材料を準備したりしている ・子どもごとに面白さを感じているのか日々のつぶやきや姿を大切に記録に残し翌日の環境設定や関わり方に活かすよう心がけた ・週案会議等で園庭の使い方を話し合い全学年で共有できるようにした	A	A	・失敗することを許されることが大事。大人への信頼感がきちんともてるかと挑戦してみようという姿につながる ・自然豊かで、良い環境のもと遊んでいる。子どもたちが人懐っこく、元気な姿が印象的。 ・防災訓練では、小学校への避難にも使ってくれてよい。道路を横断するところだけ、心配はある。	・月の指導計画に学年の経験させたい活動と子どもの興味から膨らめたい活動を具体的に記載する
	(2)一日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	子どもが安心して過ごせるよな遊びや生活環境を作る	・定期的に保育室の環境を見直し、安全・安全に生活し遊べるよう環境を整えている・早番番番で使用する玩具を用意したことで以前より遊べるようになってきた。マンネリ化しないよう見直しは必要・多くの子どもが戸外に出て遊ぶ時に室内遊びをしたい子はテラスでも遊べるよう環境を整えその子の好きな遊びができるようにした	A	A		・生活リズムの違いを考慮し、どの子も安心して過ごせるような生活環境を整え、職員が共通した援助を行う
	(3)環境を通して行う教育及び保育	子どもたちの興味関心に応じた教材が選べるような環境を作っている	・各クラスで子どもたちが選べる環境が用意されている・子どもたちの遊びの経過や経験からどんな環境が必要になってくるかを考え提供している。自然物や素材などいつも触れられる、選びとれる環境を用意し子どもの「やってみよう」が実現できるようにした・教材等用意されていると思うがもう少し一緒に遊んでも良い気がする	A	A		・子どもたちの興味・関心に応じて自分で選んで遊べる環境構成を行い、保育教諭も一緒に遊ぶ
2 安全管理・指導	(1)事故防止・防災	子ども自身が安全に過ごすためにはどうしたらよいか意識がもてるような安全教育を行う	・避難訓練、不審者訓練等を定期的に行い、反省点は職員が周知し、次に活かすことができている ・ただ危ない、うがいない子どもが意識してできたことを褒めることで習慣化につながっている	A	A		・子ども自身が安全に気を付けられるような安全教育を行う
3 保健管理・指導	(1)健康教育の充実	基本的な生活習慣が身につく健康な生活が送れている	・だいたい身につけてきている。雑になってしまう子もいるので見守りも必要 ・手洗い、うがいがいなど子どもが意識してできたことを褒めることで習慣化につながっている ・声をかけないと洗わなかったり、手を拭かない子もいる為、引き続き指導していく	A	A		・必要感をもち一人一人が手洗いうがいを行っているよう、健康指導をする
4 特別支援教育・保育	(1)支援体制づくりの推進	一人一人の発達や特性に合わせた支援体制ができている	・サポートプラン検討などで様子を知ることができ、共通理解しやすい。以前より気軽に話せる雰囲気が出てきた ・サポートプランをもとに、担当職員が中心となり家庭と全職員の協力を得ながら支援体制を固めている ・専門講師を招き具体的な手立てを学ぶことですぐに実践に活かして子どもたちの育ちにつながっている	B	A	・研修については、園と小学校で相互に見合う機会を、来年度も生活科を中心にやっていければと考えている ・小学校との連携も	・個別支援計画をもとに、職員全員が共通理解し、共通した援助を行う
5 組織運営	(1)組織体制の充実	職員一人一人が自分の役割に責任をもち、情報共有・連携を取り主体的に行動できる職員集団になっている	・前期の反省を踏まえ、職員同士声を掛け合ってきたこと意識できた。一人一人自分の仕事に責任をもって進めていると思う ・コロナ禍を踏まえて行事について職員会議で検討、確認した。自分の事だけでなく自分事と捉える意識をもっていきたい ・情報共有についてはできていないと思う	B	B		・分掌担当者が計画、役割分担を会議で具体的に提案し、協力して進めていく体制を作る
6 研 修	(1)研修体制の充実	子どもを多面的に捉え、こども理解とかかわりや援助を考察することができようような研究保育を行い、課題を追求し学びを深まっている	・園内研修を行うことで子ども理解や支援方法の学びを深めることにつながった ・研修を通して考察することで新たな気づきがあり、いろいろな視点からの意見や共感を得て大きな学びになっている ・研究保育であった課題については、自分の保育にも置き換え振り返ることができこども理解と関わりなどの学びを日々の実践に活かすことができた	A	A		・研究保育を行い、子ども達を多角的に見ることで、子ども理解を深め、子どもを見とる力をつける
7 教育・保育環境整備	(1)教育・保育環境の充実	「もっとやってみよう」「もっとこうしてみよう」と子どもが主体となって遊びを進めることができるような環境を整えている	・子どもたちの共同作業者となり、一緒に遊ぶ中で、子どもと遊びの面白さを共有したり、遊びのモデルとなったことで、子どもの「もっとこうしたい」「やってみよう」と遊びの意欲がふくらみ、試行錯誤する姿につながった ・十分な廃材、材料を用意することで、子どもたちが想像しながら作る事ができた ・保育者が良きアドバイザーとなって子どもの遊びを見ながら環境づくりをするよう心がけているが、保育者の思いが先走ることもあった	B	B		・子どもたち自身がやりたい遊びを進めていけるよう、準備から片付けまでを見通して環境構成をする
8 家庭との連携・協力	(1)家庭教育への支援機能の充実	子どものエピソードや成長などを直接言葉で伝え、保護者と子どもの育ちを共有できるようにしている	・クラスだよりやボード、写真や登園時の会話などで、エピソードや成長を伝えることができている ・子どもの遊びの姿だけでなく、どんな育ちが見られるか保護者の理解と保育者との共有につながるようボード、ドキュメンテーションで伝える工夫や見せ方の工夫を行った ・登園時に保護者とのコミュニケーションを大事にし、共有できるようにしている	A	A		・遊びの過程がわかるドキュメンテーションの工夫をし、直接エピソード等を伝える機会をたくさんつくる
9 近隣の学校との連携	(1)近隣の園との連携の推進	年間を通し交流を図り互いの教育を知り、幼小接続について考えている	・運動会の様子を見せてもらったり、秋見つけに出かけたり小学校に行く機会がもてた。年長児も2年生との交流もあり良かった ・2学期になり、小学校へ行く機会も増えている	A	A		・小学校に行く機会だけでなく、来園してもらう機会を増やし、相互の交流の場を増やす
10 地域との連携	(1)信頼される園づくりの推進	地域のいろいろな場所や人、もの、ことにかかわり地域に親しみをもてるようにしている	・園外に散歩に出かける機会が増え、地域の自然を見たり近隣の方に挨拶したりすることができた ・古本ストアに買い物に出かけたり地域に親しみをもつことができた	A	A		・積極的に地域に散歩等で出かけていき、西奈地区の人、自然等の環境に親しむ機会を増やす

